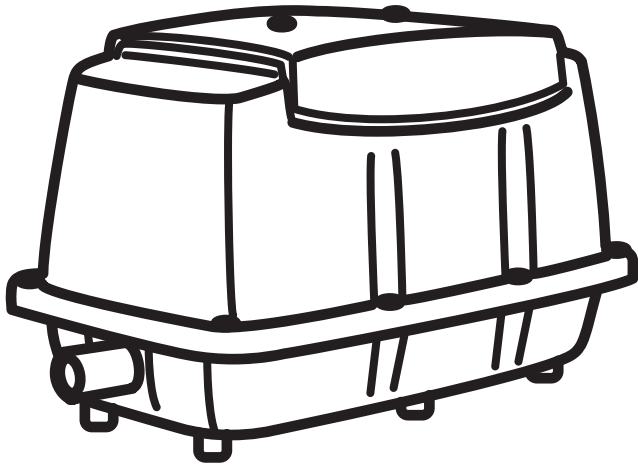


KOSHIN 浄化槽ブロワポンプ

AKシリーズ 取扱説明書



機種名
AK-100
AK-120

- ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られるように、大切に保管してください。

お問い合わせ

- 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは…
購入店またはお近くの弊社製品取扱店にご相談ください

- 製品の修理に関するお問い合わせは…

工進修理受付窓口
ダイレクト修理
(※北海道・沖縄を除く)

電話

**0120-987-386**

電話受付時間

平日：9:00～17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く
受付時間に変更がある場合は、
弊社ホームページにて
ご案内します。

- 製品に関するお問い合わせは…

お客様相談窓口

電話

**0120-075-540**

キョウトのコーシン

Eメール
Q&A

お客様サポートページ ▶

Eメール

pump@koshin-ltd.co.jp



株式会社

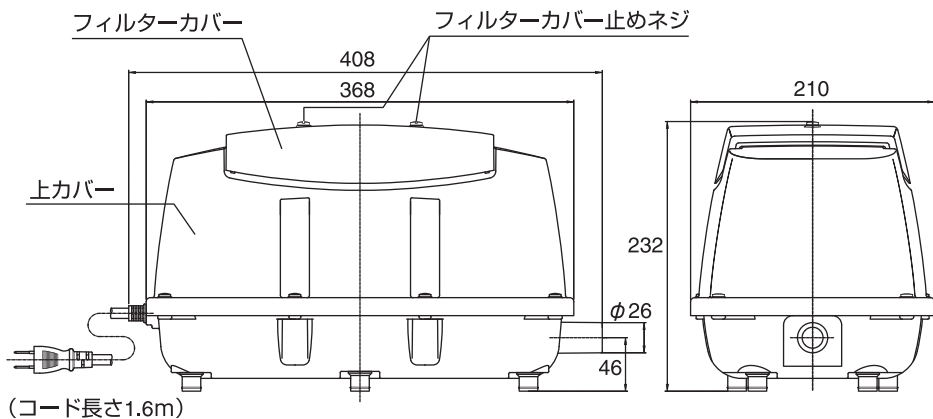
工進〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
http://www.koshin-ltd.co.jp

仕様

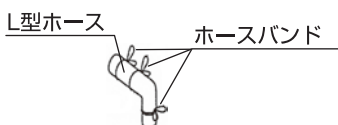
機種名	AK-100	AK-120
定格電圧	AC 100 V	
定格周波数	50 / 60 Hz	
定格圧力	0.018 MPa(0.18 kgf/cm ²)	
吐出空気量	100 L/min	120 L/min
消費電力(50Hz/60Hz)	100 W/95 W	130 W/118 W
本体重量	9.4 kg	
付属品	L型ホース…1 ホースバンド…大2 小1 取扱説明書…1	

外形寸法図

型式：AK-100・AK-120



付属品



安全に正しく作業していただくために

- ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

〈絵表示の説明〉

**警告**

この表示の警告内容を見逃して、取り扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**

この表示の注意内容を見逃して、取り扱いを誤った場合に使用者が損傷を負う危険および物的損害の発生が想定される内容を示します。



・・・この記号は行ってはいけない「禁止」の内容です。



・・・この記号は必ず実行していただく「強制」の内容です。

〈特に注意していただきたいこと〉

ブロワの故障や事故を防ぐために必ず守ってください。

**警告**

…感電・発火事故防止

- ① ブロワが浸水したり、雪にうずもれたりする場所には設置しないでください。⊘
- ② ブロワの電源は、防水型コンセントをご使用ください。❗
- ③ 電源は漏電遮断器・過電流遮断器の設置されたAC100Vをご使用ください。❗
- ④ 電気工事は必ず専門の工事業者が行ってください。❗
- ⑤ ブロワ近く(約50cm)には、ものを置かないでください。⊘
- ⑥ 電源コードの上には、ものを置かないでください。⊘
- ⑦ ブロワを分解するまえに、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。❗
- ⑧ ブロワの点検後、はずした上カバーは必ず取り付けてください。❗
- ⑨ ブロワの点検後、はずしたフィルターカバーは必ず取り付けてください。❗
これらの注意を怠ると、感電事故や火災の生じるおそれがあります。
- ⑩ 分解・修理は、必ず軍手等を使用してください。❗
やけどのおそれがあります。

設置について

必ず【安全に正しく作業していただくために】を読んでください。

- ☐ 浄化槽の近くに設置してください。
空気配管が長くなると吐出空気量が不足して、浄化槽の性能がでないおそれがあります。
- ☐ 維持管理しやすい場所に設置してください。
- ☐ マンホールの上や、やわらかい地面には設置しないでください。
- ☐ ブロワを設置する場所は、通気に配慮してください。
 - ・建物より30cm以上離して設置してください。
 - ・直射日光を避け、出来るだけ周囲の温度が低い場所に設置してください。
 - ・ブロワにカバーをかぶせたり、風通しのわるい場所には設置しないでください。
 - ・枯れ葉やゴミが吹きだまる場所には設置しないでください。
- ☐ ブロワを設置する場所は、防湿に配慮してください。
 - ・ブロワが浸水したり、雪にうずもれたりする場所には設置しないでください。⊘
 - ・水気は湿気の多い場所には設置しないでください。
- ☐ ブロワを設置する場所は、騒音に配慮してください。
 - ・寝室や書斎の窓の近くへの設置は避けてください。
ブロワは昼夜運転しているため、その作動音が気になることがあります。
- ☐ 据え付け台をコンクリートで造ってください。
 - ・振動防止のために、据え付け台はコンクリート製とし、ブロワ自体の重量や振動に耐えるものとしてください。
 - ・据え付け台は建築物と直接つなげることなく地盤より10cm以上高くし、ブロワの外形寸法より5cm以上大きくしてください。
- ☐ ブロワ専用の電源コンセントを設備してください。
 - ・電気工事は必ず専門の工事業者が行ってください。❗
 - ・電源は漏電遮断器・過電流遮断機の設置されたAC100Vをご使用ください。❗
 - ・コンセントは防水型をご使用ください。❗
 - ・アース工事は不要です。(ブロワの外部に金属が露出していないため。)
- ☐ ブロワを据え付け台に水平に置いてください。
- ☐ ブロワの空気吐出口と浄化槽の空気供給口との接続は、必ず付属のL型ホースを使用し、ホースバンドで固定してください。
- ☐ ブロワの空気吐出口と浄化槽の空気供給口の高さを調整して、L型ホースが曲がったり、つぶれたりしないように接続してください。
- ☐ ブロワ運転開始前に以下のことを確認してください。
 - ・浄化槽内の水位及び配管のバルブが適正な状態になっていることを確認してください。
- ☐ ブロワの電源プラグを専用の防水型コンセントに差し込んでください。
 - ・電源プラグは、がたつきのないように刃の根本まで確実に差し込んでください。
接続の不完全な場合には、関電や火災の生じるおそれがあります。
- ☐ 運転開始時に以下のことを確認してください。
 - ・ホースの接部から空気の漏れがないことを確認してください。
 - ・運転音に異常がないことを確認してください。
 - ・無理な配管のために、振動が浄化槽に起こっていないことをたしかめてください。

維持管理について

必ず【安全に正しく作業していただくために】を読んでください。
ブロフは、槽内の浄化作用に必要な空気を適正量供給しています。
維持管理が不十分ですと、次第にブロフの性能が低下いたします。
保守および点検(3か月毎)は、次のように行ってください。

期 間	保守・点検作業事項	作 業 理 由
3か月目	☐ 作業前にブロフの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。	この注意を怠ると、感電のおそれがあります。
	☐ フィルターエレメントの点検および清掃を行ってください。	目詰まりにより性能の低下や故障の原因になることがあります。
	☐ ブロフの外部清掃および塵埃除去を行ってください。	塵埃などによりブロフの表示が読めなくなることがあります。
	☐ 上カバーとフィルターカバーのネジに緩みがないことを確認してください。	ネジの緩みによる異音や故障の原因になるおそれがあります。
	☐ 【運転再開時の保守・点検作業について】を必ずお読みください。	
6か月目	☐ 3か月目と同じ	
9か月目	☐ 3か月目と同じ	
1年目	☐ 作業前にブロフの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。	この注意を怠ると、感電のおそれがあります。
	☐ フィルターエレメントの交換を行ってください。	目詰まりにより性能が低下や故障の原因になることがあります。
	☐ ブロフの外部清掃および塵埃除去をおこなってください。	塵埃などによりブロフの表示が読めなくなることがあります。
	☐ 上カバーとフィルターカバーのネジに緩みがないことを確認してください。	ネジの緩みによる異音や故障の原因になるおそれがあります。
	☐ 【運転再開時の保守・点検作業について】を必ずお読みください。	
1年3か月～1年9か月目	☐ 3か月目と同じ	
2年目	☐ 作業前にブロフの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。	この注意を怠ると、感電のおそれがあります。
	☐ 定期補修部品(フィルターエレメント、ガスケットA、ガスケットB、ピストン、ばねシートおよびコイルばね)の交換を行ってください。	交換を行わないと性能の低下や故障の原因になるおそれがあります。
	☐ ブロフの外部清掃および塵埃除去を行ってください。	
	☐ 上カバーとフィルターカバーのネジに緩みがないことを確認してください。	塵埃などによりブロフの表示が読めなくなることがあります。
	☐ 【運転再開時の保守・点検作業について】を必ずお読みください。	ネジの緩みによる異音や故障の原因になるおそれがあります。
2年目以降	☐ 上記2年間の保守・点検作業事項を繰り返してください。	

故障・原因とその処置

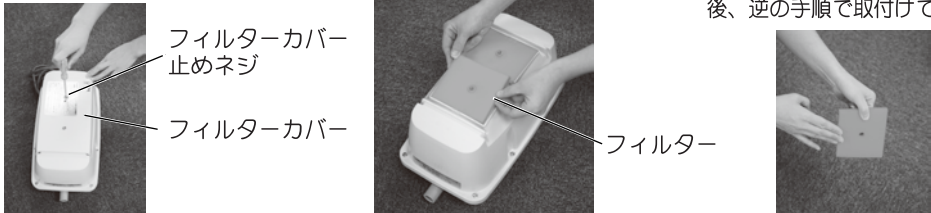
必ず【安全に正しく作業していただくために】を読んでください。

現 象	原 因	処 置
全く動かない	停電	●電源コンセントに規定電圧（AC100V）の電気が来ているかテスターで調べる ●ヒューズ・ブレーカーが断路になっていないか確認する。
	電源コードの断線	●テスターを電源プラグの両刃に接触させ抵抗値が表示されることを確認する。
	電圧低下による起動不良	●規定電圧（100V）の確認
吐出空気量不足	配管・散気管のつまり	●清掃・修理
	空気漏れ	●シリンダーカバーのボルトの増し締め ●ガスケットの交換 ●配管・吐出ホースの修理および交換
	電圧低下	●規定電圧（100V）の確認
音が大きい	ピストンの寿命	●ピストン交換
	ブロフが建物と接近または他の物と接触している	●接触物の除去 ●ブロフの位置を変える
	空気漏れ	●配管・吐出ホースの点検・修理 ●シリンダーカバーのボルトの増し締め ●ガスケットの交換
	フィルターカバー・電源コードなどの取り付け不良による接触音	●フィルターカバーの取り付けを正しくする ●コード取り付けの点検
	異常音	●定期補修部品の交換 【維持管理について】をお読みください
異常発熱 ブロフ本体表面で約60℃以下が正常です（素手で触れる程度が目安）	フィルターエレメント又は吸入口の目詰まり	●フィルターエレメントの清掃または交換（フィルターの清掃参照）
	交換時期の経過部品によるもの	●フィルターエレメント・ピストン・ガスケットの定期補修部品の交換
	浄化槽配管内のバルブが正規の位置でない	●浄化槽メーカーの推奨位置にする
	接続ホースの折れ曲がりやつぶれ	●接続ホースに折れ曲がりや、つぶれがないように無理なく配管する
	その他	●ブロフに小さな箱・ビニールなどがかぶさっているような場合、風通しのよい場所に設置する

〔注〕ブロフが浸水した場合は、電気絶縁の低下があるとともに、部品が全体的に悪くなっています。
この場合は、ブロフの交換を行ってください。

<フィルターの清掃>

- ①フィルターカバー止めネジを外し、フィルターカバーを取り外してください。
- ②フィルターを取り出してください。
- ③フィルターについた塵埃を叩くか、水洗い（洗浄後、完全に乾燥させる）してください。清掃後、逆の手順で取付けてください。

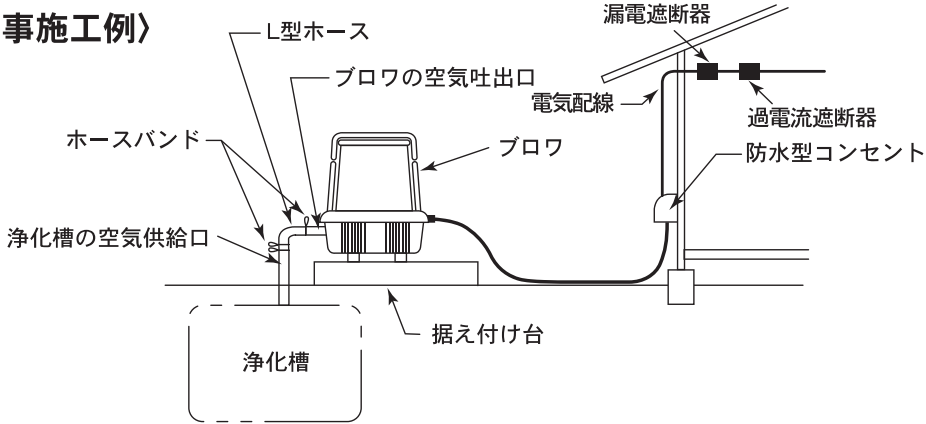


運転再開時の保守・点検作業について

必ず【安全に正しく作業していただくために】を読んでください。

保守・点検作業事項	作 業 理 由
☐ はずした上カバーおよびフィルタカバーは必ず取り付けてください。	この注意を怠ると、感電事故や火災の生じるおそれがあります。
☐ ブロフは据え付け台に水平に置いてください。 ☐ ブロフの空気吐出口と浄化槽の空気供給口との接続は、付属のL型ホースを使用し、ホースバンドで固定してください。 ・接続固定後、L型ホースが曲がったりつぶれたりしていないことを確認してください。	振動が上カバーに伝わり、音が大きくなる場合があります。 接続が不完全ですと、浄化槽に適正な空気量が供給できなかったり、振動が伝わり音が大きくなる場合があります。
☐ ブロフの近く（約50cm）には、ものを置かないでください。 ☐ 電源コードの上には、ものを置かないでください。 ☐ ブロフの電源は、防水型コンセントをご使用ください。 ☐ 電源は漏電遮断機・過電流遮断機の設置されたAC100Vをご使用ください。	これらの注意を怠ると、感電事故や火災の生じるおそれがあります。
☐ 電源プラグを電源コンセントにがたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。	電源プラグの刃にホコリが付着したり、電源コンセントへの接続が不完全ですと故障の原因になることがあります。
☐ ホースの接続部から空気の漏れがないことを確認してください。	ブロフの吐出側圧力が変動し空気量が低下したり、故障の原因になることがあります。
☐ ブロフの吐出ホース側圧力が定格圧力であることを確認してください。	ブロフの吐出側圧力が定格圧力でない場合、浄化槽に適正な空気量が供給できないことがあります。またブロフの故障の原因になることがあります。
☐ 運転音に異常のないことを確認してください。	異常な運転音のまま使用していると故障の原因になることがあります。
☐ 無理な配管のために、振動が浄化槽に起こっていないことを確認してください。	振動が浄化槽に伝わり、音が大きくなる場合があります。

〈工事施工例〉



保証について

KOSHIN 保証書

持込修理

レシートまたは販売証明書と共に保管してください

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。商品と本書をお持ちいただき「工進修理受付窓口」へ修理をご依頼ください。

保証期間経過後の修理などについても「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機 種		浄化槽プロアポンプ AKシリーズ		※お買い上げ日		年	月	日
保証期間		お買い上げより1年間						
お 客 様	※お名前			※購入店	〒 住所			
	※ご住所	〒			店名			
		電話 ()				電話 ()		

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
〈イ〉使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
〈ロ〉お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
〈ロ〉施工上、維持管理の不備により生じた故障。
〈二〉火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
〈二〉家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
〈ホ〉本書でご提示がない場合。
〈ヘ〉本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

〈ト〉付属品、消耗品は有料修理となります。

〈チ〉車両、船舶などに取付された場合に生ずる故障または損傷。

2. 本製品は定期的に消耗部品の交換が必要です。その部品交換は有償となります。

3. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

4. この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。（一部商品を除く）

5. 本書は日本国内についてのみ有効です。

6. 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

7. 部品の保有年限は生産中止後7年です。

株式会社 工進

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12